

箕面市みどりの基本計画改訂
市のみどりに関するアンケート調査
調査結果

令和8年1月

アンケート結果

1. 調査要領

調査期間:令和7年9月1日(月)～ 9月22日(月)

形 式:WEBアンケート

回 答 数:総計 683件

(内訳)

- | | |
|-----------------|------|
| ①ホームページ・広報紙・ハガキ | 596件 |
| ②第38回eモニター | 75件 |
| ③第7回eリサーチ | 12件 |

市広報紙「もみじだより」への掲載

~箕面市みどりの基本計画を改訂~

**市のみどりに関するアンケート調査に
ご協力をお願いします!**

調査期間 9月1日月～22日月

回答方法 お手持ちのスマートフォンで、右記QRコードからアンケートシートにアクセスし回答
※パソコンを利用する場合は、市ホームページからご回答ください。

公園緑地室 ☎ 724・6749 ☎ 723・5581

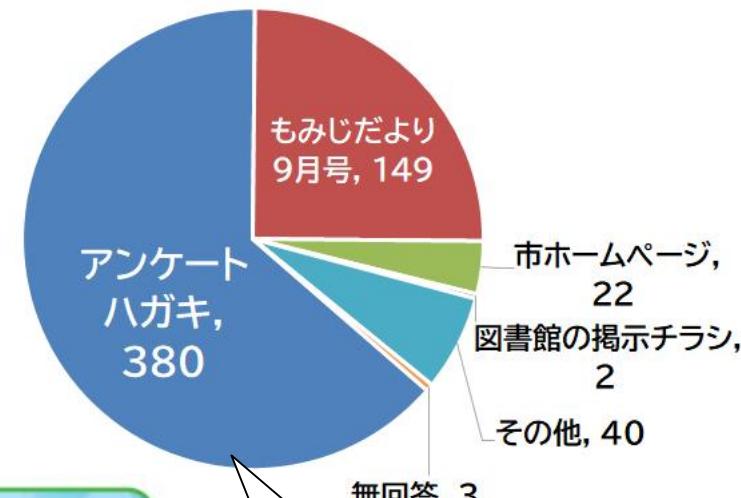
QRコード

緑地の保全や公園のリニューアル、民有地における緑化の推進など、市のみどりに関するまちづくりの考え方を示す「箕面市みどりの基本計画」の改訂を行います。改訂に当たり、市民のみなさんが市のみどりについてどのように感じているかを把握するため、アンケート調査を実施します。緑豊かで美しい箕面のまちを次の世代へ引き継ぐ貴重な意見となるものです。ぜひご協力をお願いします。

※同計画は市ホームページで公開しています。現行の計画(平成16年策定)が、令和7年度に目標年次を迎えるため、このたび近年の社会情勢や市民ニーズの変化を考慮したものに改訂する予定です。



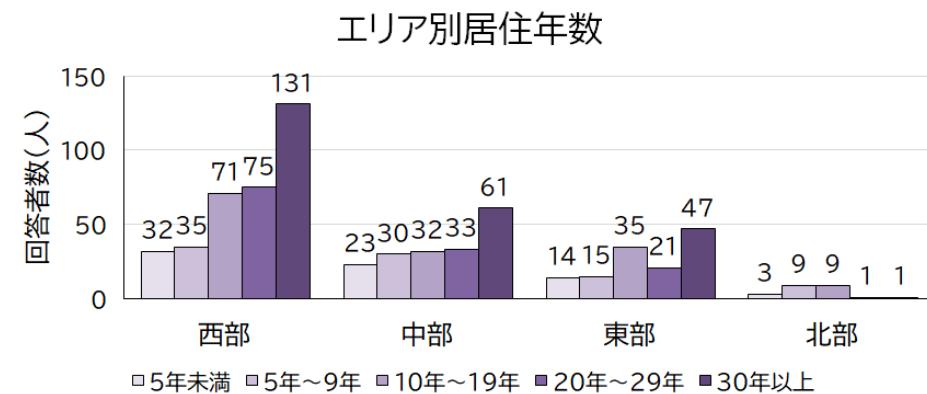
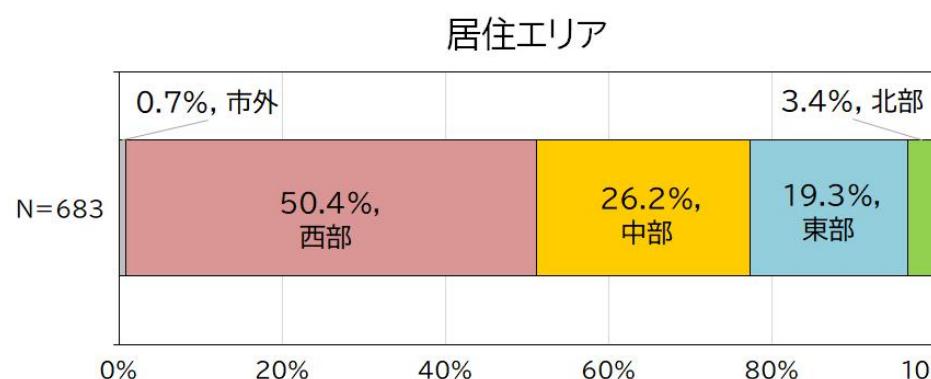
アンケートを何で知ったか



アンケートハガキ
配布2,000通
回答380件

アンケート結果

2. 回答者属性

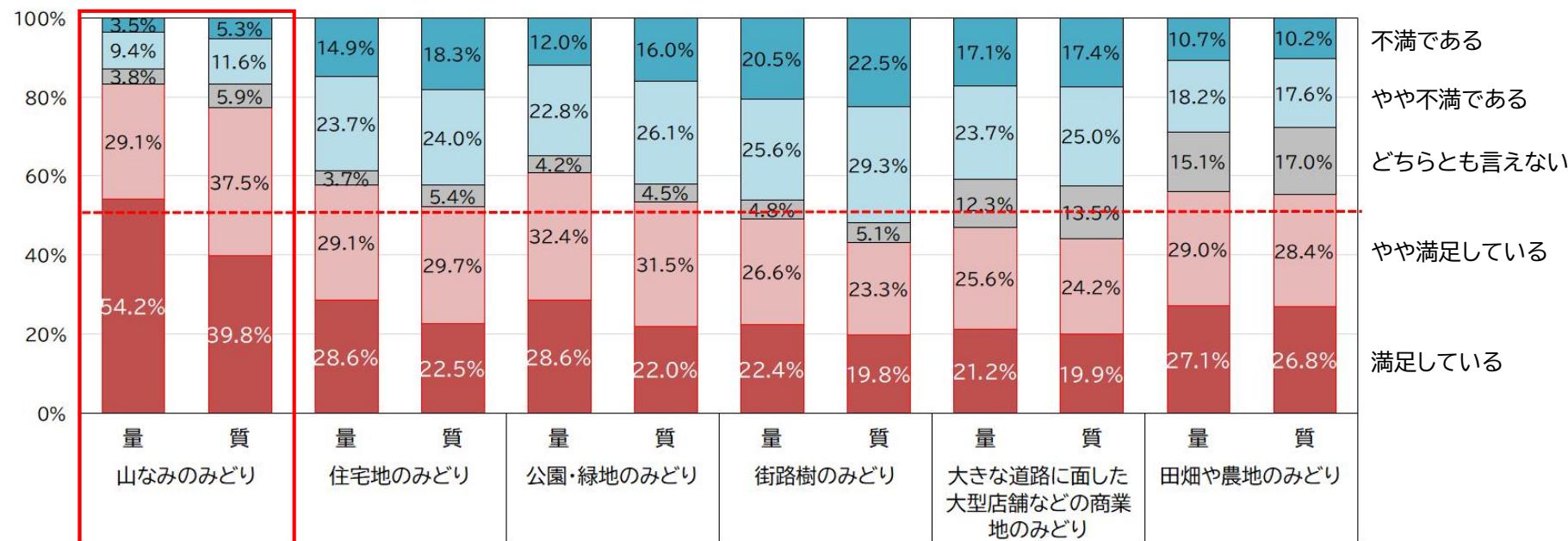


- 回答者の属性は、40代(22.3%)・50代(22.7%)が中心である。
- 回答者の居住エリアは半数以上が西部エリア(箕面・西小路・牧落・百楽荘・桜・桜井・半町・瀬川・桜ヶ丘・新稻・温泉町・箕面公園)である。
- 回答者の居住年数は30年以上の比率が一番多く、5年未満の回答者は約1割である。
- 居住年数をエリア別に分類すると、北部以外のエリアは30年以上の回答者が最も多い。

アンケート結果

3. みどりの量と質の満足度について

※満足度：「どちらかといえば満足している」「満足している」を選んだ比率



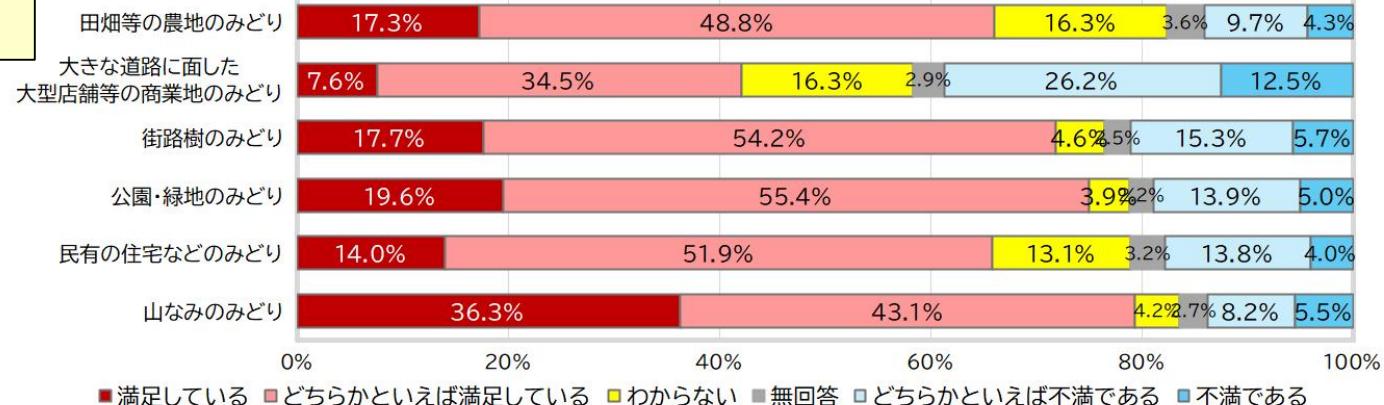
- 「山なみのみどり」は、「量」に対する満足度が8割を超えており、「質」に対する満足度も8割近くとなっており、「山なみのみどり」の満足度は「量」「質」とともに非常に高い。
- 「山なみのみどり」以外は、いずれも満足度は半数程度で、特に「満足している」については「質」「量」とともに2割~3割である。また、傾向として、「質」より「量」に対する満足度が高い。
- 「住宅地のみどり」「公園・緑地のみどり」は、「質」より「量」に対する満足度が特に高い。
- 「街路樹のみどり」「大きな道路に面した大型店舗などの商業地のみどり」は、他のみどりよりも満足度が低い。
- 「田畠や農地のみどり」は、「量」「質」とともに同程度の満足度となっている。

アンケート結果

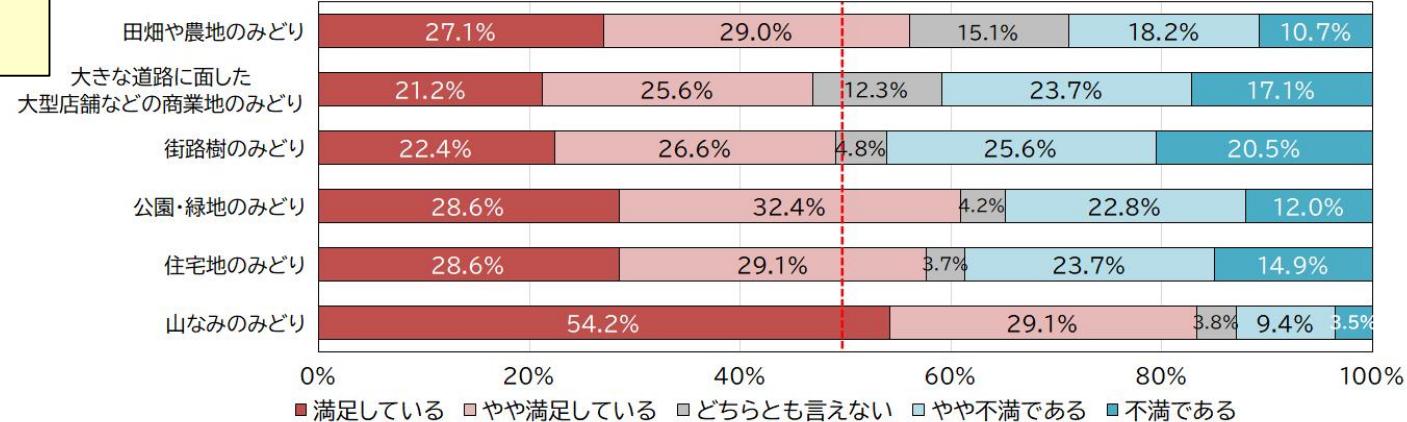
3. みどりの量と質の満足度について

H21に実施したアンケートでの「みどりへの満足度」とR7「みどりの量への満足度」と比較した場合

前回の市民アンケート (H21)



今回のアンケート (R7)

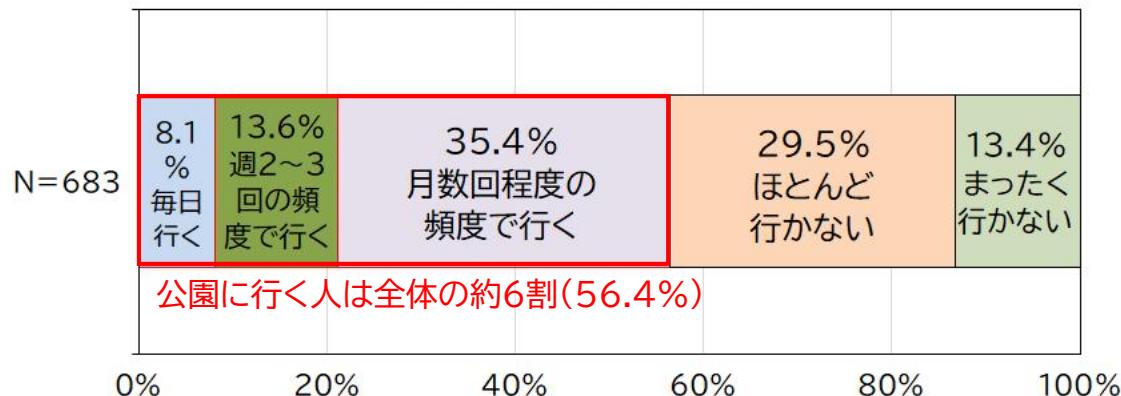


- 前回(平成21年度)実施の市民アンケートでは、「山なみのみどり」に関する満足度※は79.4%で、今回(令和7年度)のアンケートでも引き続き非常に高い83.3%である。
- さらに、「満足している」の比率が前回より高くなり、特に「山なみのみどり」が最も伸びている。

※「満足している」「どちらかといえば満足している」を選んだ比率

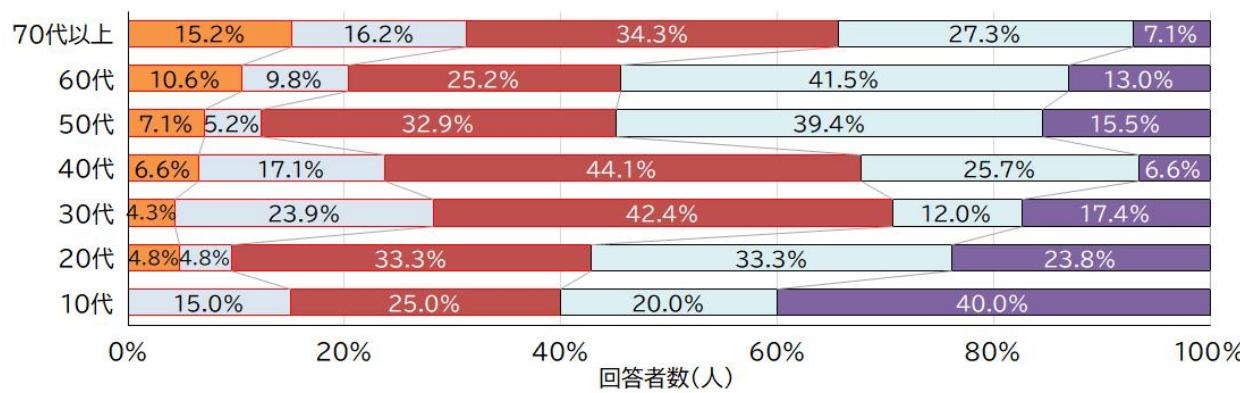
4. 公園の利用頻度・目的について

市内公園への来訪頻度



- 市内公園への来訪頻度は、「月数回程度」以上公園に行くと答えた人が回答者全体の約6割である。

回答者年齢層×公園頻度



- 年齢別に来訪頻度を分類すると、30~40代及び70代以上の頻度が高い。
- 特に70代は「毎日行く」の比率が他の年齢層より高くなっている。

アンケート結果

4. 公園の利用頻度・目的について

公園への来訪目的(複数回答)

内容	回答数	比率
散歩やジョギング、体操などの健康づくり	251	42.4%
遊具で遊ぶため(子どもを遊ばせるため)	184	31.1%
お花見など、季節の移り変わりを楽しむため	175	29.6%
休憩	163	27.5%
風景の鑑賞	145	24.5%
友達や近隣住民との交流のため	54	9.1%
自治会等のイベントへの参加	42	7.1%
公園の清掃や花壇づくりなどのボランティア活動のため	40	6.8%
動植物などの観察のため	64	10.8%
水遊び	21	3.5%
部活動等の自主練習	15	2.5%
避難訓練など防災活動のため	13	2.2%
読書やスケッチ等趣味を楽しむため	14	2.4%
回答者数 592名による総回答数	1,181	-

複数回答の最初の選択と年齢層のクロス集計

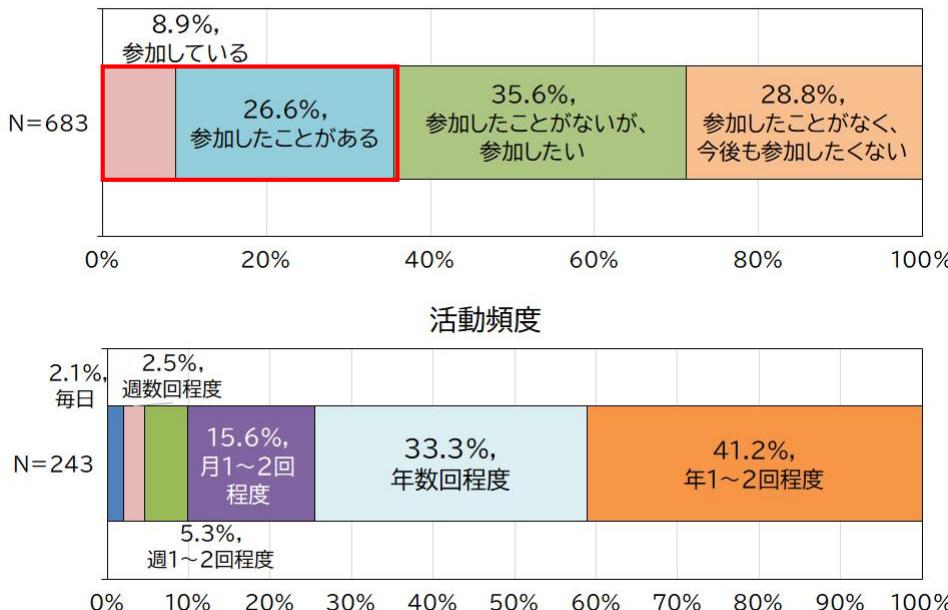
第1位回答	年齢層								総計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上		
遊具で遊ぶため(子どもを遊ばせるため)		4	52	69	12	10	6	153	
散歩やジョギング、体操などの健康づくり	3	5	8	20	46	28	29	139	
休憩	5	12	7	15	36	29	21	125	
風景の鑑賞	1	2	2	14	13	19	13	64	
お花見など、季節の移り変わりを楽しむため		4	2	8	13	6	5	38	
公園の清掃や花壇づくりなどのボランティア活動のため					5		4	8	17
友達や近隣住民との交流のため		5		2	1	2	2	2	12
自治会等のイベントへの参加	1		1	4	2	2	2	2	12
部活動等の自主練習	1		2	2	5	1			11
動植物などの観察のため				2	2	2	5	11	
避難訓練など防災活動のため					1	3			4
読書やスケッチ等趣味を楽しむため			1			1	1	1	3
水遊び	1		1	1					3
総計	12	32	76	142	131	107	92	592	

- 市民の公園への来訪目的は、「散歩やジョギング、体操などの健康づくり」「遊具で遊ぶため(子どもを遊ばせるため)」が多く、また第1位で選ぶ比率も高い。
- また、「自治会等のイベントへの参加」(7.1%)、「公園の清掃や花壇づくりなどのボランティア活動のため」(6.8%)とあり、市民の自主活動での公園利用も一定数ある。

アンケート結果

5. みどりに関する活動への市民参加について

市内のみどりに関する活動への参加



※活動頻度(1つの活動で、最も頻繁に行っているものの頻度)

現在参加している又は今後参加したい活動(複数回答)

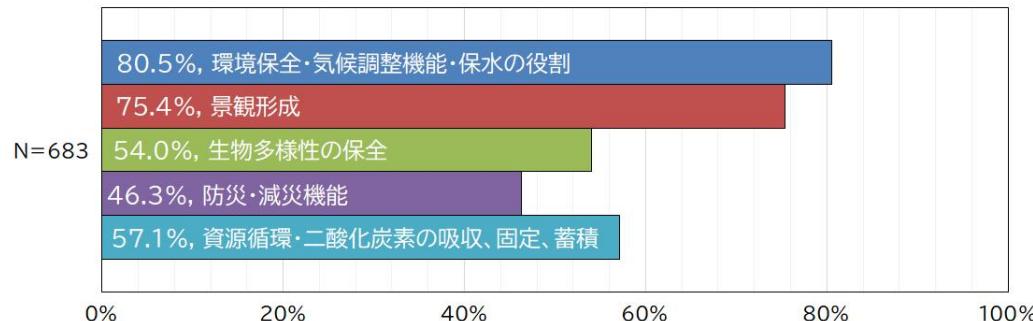
内容	回答数	比率
散歩やジョギング、ハイキング	248	51.0%
公園や緑地、河川や水路、道路などの清掃	157	32.3%
動植物の観察会や、生き物の生息・生育環境づくりに関する活動	126	25.9%
農地での農業作業体験活動	111	22.8%
山なみを保全する活動	103	21.2%
自治会でのお花見会など、地域住民主催のイベント活動	94	19.3%
公園や緑地、道路の花壇の世話	90	18.5%
神社などにある保護樹木などの保護に関する活動	92	18.9%
花やみどりに関する勉強会、講習会への参加	78	16.0%
みどりを守るための募金や寄付への協力	78	16.0%
回答者数 486名による総回答数	1,177	

- 市内のみどりに関する活動については、「参加したことがある」が約36%、「参加したことないが、参加したい」も約36%あることから、約7割の回答者が活動に参加したいと思っている。
- 活動頻度は「年1～2回程度」(41.2%)が最も多く、「年数回程度」(33.3%)と合わせて7割を超えている。
- 現在参加している又は今後参加したい活動については、「散歩やジョギング、ハイキング」が半数を超え、最も多い。

アンケート結果

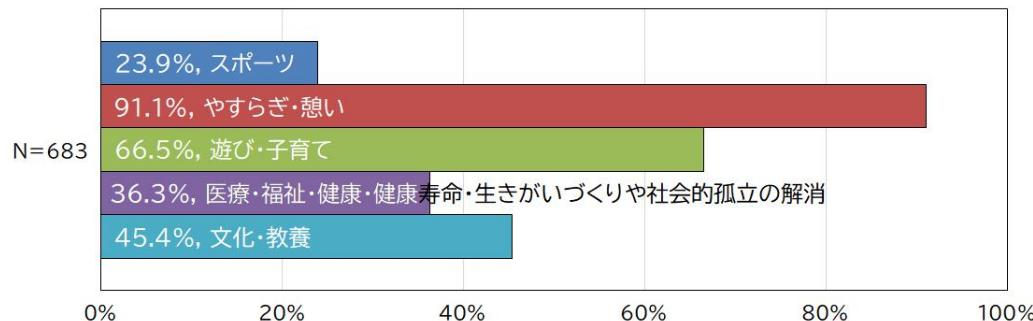
6. みどりの効果の重要性の感じ方について

◆みどりがあるだけで発揮される効果(存在効果)の重要性(複数回答)



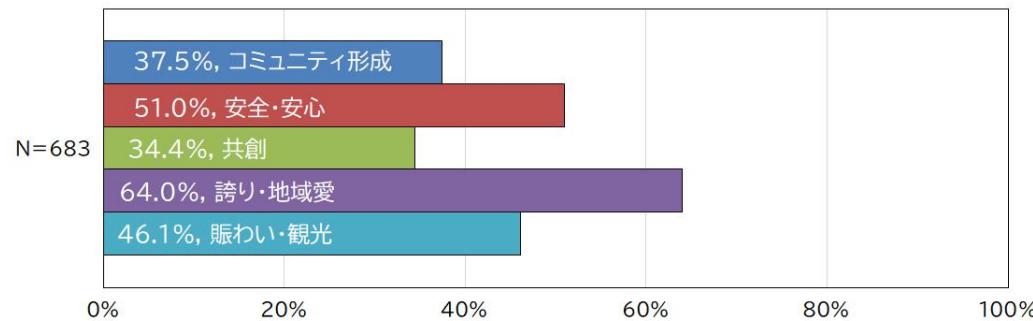
- みどりがあるだけで発揮される効果(存在効果)は、「環境保全・気候調整機能・保水の役割」(80.5%)、「景観形成」(75.4%)が重要であるという回答が多い。

◆みどりを利用することによって発揮される効果(利用効果)の重要性(複数回答)



- みどりを利用することによって発揮される効果(利用効果)は、「やすらぎ・憩い」(91.1%)が突出して重要と考えられており、「遊び・子育て」(66.5%)も多い。

◆みどりによって副次的に発揮される効果(媒体・波及効果)の重要性(複数回答)



- みどりによって副次的に発揮される効果(媒体・波及効果)で、最も多く選ばれたのは、「誇り・地域愛」(64.0%)である。

アンケート結果

7. みどりの市政への関心について

◆「森林環境税」についての認知度

回答	回答数	比率
知っている	274	40.1%
知らない	409	59.9%

- 令和6年度から徴収が始まった「森林環境税」の認知度は、約4割である。

◆徴収した森林環境税をどのように使って欲しいか(複数回答)

選択肢	回答数	比率
間伐などの森林の整備	486	71.2%
森林に関する人材の育成や担い手の確保	408	59.7%
森林のもつ公益的機能に関する普及啓発活動	225	32.9%
木材の利用を促進するための取組	154	22.5%
回答者数 693名の総回答数	1,273	

- 森林環境税の活用先として、「間伐などの森林整備」と「森林に関する人材育成や担い手の確保」が高い比率で選択されており、森林の維持管理に対して使うことが多く望まれていると分かった。

◆森林環境税の活用先として、

【(1)止々呂美地区の森林での土砂災害や崩落予防のための間伐等の整備】
 【(2)ハイキング道の修繕・補修などの整備】を知っているか

回答	回答数	比率
(1)のみ知っている	23	3%
(2)のみ知っている	73	11%
両方知っている	74	11%
両方知らない	513	75%

- 既に森林環境税を活用している「(1)止々呂美地区の森林土砂災害や崩落予防のための間伐等の整備」「(2)ハイキング道の修繕・補修などの整備」については、あまり知られていないという結果になった。

7. みどりの市政への関心について

◆「開発事業等緑化負担税」についての認知度

回答	回答数	比率
知っている	60	8.8%
知らない	623	91.2%

- 開発事業者から徴収する「開発事業等緑化負担税」は、箕面市独自の法定外目的税ということもあり、ほとんど認知されていないという結果になった。

◆徴収した緑化負担税をどのように使って欲しいか(複数回答)

選択肢	回答数	比率
緑地の維持管理	528	77.3%
公園の維持管理	456	66.8%
老朽化した公園遊具やトイレなどのリニューアル	388	56.8%
農地の保全	263	38.5%
市民の主体的な緑化の取組の支援	124	18.2%
緑化意識の啓発	87	12.7%
みどりに関するイベントの開催	54	7.9%
回答者数 693名の総回答数	1,900	

- 民間事業者から徴収した緑化負担税の活用先として、公共空間の維持管理の財源として利活用する「公園の維持管理」「緑地の維持管理」「老朽化した公園遊具やトイレなどのリニューアル」が多く望まれていることが分かった。

8. 「箕面らしいみどり」とは

前回の市民アンケート(H14)	地域	1位	2位	3位	4位	5位	6位
	西部	箕面の滝・滝道	山なみ	勝尾寺	才ヶ原線の桜並木	瀧安寺	紅葉橋通り
	中部	箕面の滝・滝道	山なみ	勝尾寺	才ヶ原線の桜並木	瀧安寺	東海自然歩道
	東部	箕面の滝・滝道	山なみ	勝尾寺	才ヶ原線の桜並木	農地田園	東海自然歩道
	北部	箕面の滝・滝道	勝尾寺	山なみ	余野川	箕面川ダム	教学の森

今回のアンケート(R7)
箕面市の「みどりあふれる住宅都市」としてのブランド力に貢献しているみどり(複数回答)

順位	選択肢	回答数	比率	西部	中部	東部	北部
1	滝・滝道	512	75.0%	268	131	94	16
2	山なみ	503	73.6%	254	128	96	21
3	桜並木	312	45.7%	195	69	39	8
4	公園・緑地	276	40.4%	139	72	54	12
5	街路樹	248	36.3%	135	60	47	7
6	ハイキング道	224	32.8%	134	45	36	8
7	住宅地のみどり	203	29.7%	104	50	42	7
8	田畠や農地	182	26.6%	83	60	33	5
9	神社・お寺などの樹木	142	20.8%	93	26	19	4
10	河川や池	95	13.9%	59	23	11	2
11	大きな道路に面した大型店舗などの商業地のみどり	76	11.1%	39	21	14	2
12	箕面川ダム	58	8.5%	35	14	8	1
13	その他	9	1.3%	4	3	2	0
回答者数 683名による総回答数		2,840		1,542	702	495	93

- 箕面らしさとして都市のブランドに貢献している“みどり”に、「滝・滝道」「山なみ」が7割以上の人から選ばれ、過去のアンケート調査結果(平成14年実施)と同様に、箕面市の都市イメージに定着したみどりであることが分かった。

9. 自由記述

自由記述意見 298名

◆箕面らしい山なみや田園風景（農地）についての意見

- 山なみや農地・田んぼといった田園風景、桜並木等の景観等の維持・保全を求める意見が多く上がっている。
- 宅地開発により、自然環境と密接につながるみどりの充実した都市環境が減少してきたことを指摘する意見もある。（“みどりの減少”に関する言及25件）
- 箕面市特有の山なみや景観の保全を求める意見もある。（“保全”の言及18件）
- 箕面らしい都市魅力やブランド価値に関する意見も多くみられる。（“魅力”に関する言及74件）

◆公共空間のみどりについての意見

- 市街地のみどりのうち、街路樹や公園の樹木の維持管理に関する意見が多く挙げられている。（“維持管理”に関する言及149件）
- 交通安全のための街路樹等の伐採・維持管理の要望がある一方で、植樹により緑陰を増やすようにしてほしい（暑熱対策）という意見もある。
- 老朽化した桜並木については、保全と撤去・伐採のどちらの意見もある。
- 公園の維持管理について、リニューアル整備や維持管理の規模的なムラや、除草回数に関する要望などが挙げられている。
- 近隣他都市と比較して新規開発した市街地などの緑化について求める意見もある。